

令和5年度 神奈川区 運営方針

笑顔でつながる「神奈川区」

I 基本目標

～ 地域の皆様とともに、安心して温かい元気なまちづくりを進めます ～

神奈川区では、子育て世代等の流入により人口が25万人を超える見込みとなっており、今後もしばらくは増加の傾向が続くとみられています。

このような中、神奈川区では横浜市中期計画に掲げる基本戦略「子育てしたいまち 次世代を共に育むまち ヨコハマ」の実現に向けて、転入世帯をはじめとする若い世代が地域に迎えられ、つながりあう中で、支えあえる関係づくりを目指します。

さらに、神奈川区に暮らすすべての人がいきいきと暮らし続けられる「安心して温かい元気なまちづくり」を進めます。

II 目標達成に向けた3つの施策

1 誰もがいきいきと暮らし続けられるまちづくり

若い世代が安心して子育てができる地域づくりを目指し、高齢の方、障害のある方、外国につながる方、すべての皆様が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、きめ細かに行政サービスにつなげます。

2 地域がつながり魅力にあふれるまちづくり

まちに暮らすすべての皆様が、つながり、支えあうことの良さを実感し、愛着を感じるような地域づくりを目指します。

また、暮らしの中で神奈川区の様々な魅力に触れ、このまちに住んでいてよかったと思えるまちづくりを進めます。



3 安全・安心なまちづくり

すべての皆様にとって必要不可欠な安全・安心な暮らしを目指して、自助・共助・公助の防災や防犯の取組を進めます。

III 目標達成に向けた組織運営 ～信頼される区役所づくり～

職員が一丸となって、横浜市中期計画の目指す方向性を念頭に置いて、信頼される区役所づくりのためにできることを考え、行動します。

必要な情報を必要な人に確実に届けられるよう「伝わる広報」を意識するとともに、デジタル技術の活用や協働・共創の視点をもって取り組みます。

行政サービスの向上

区役所職員の一層のスキルアップにより行政サービスを正確・迅速に実施します。

現場主義の実践

職員一人ひとりが自らの果たすべき責任と役割を自覚し、区民の皆様の声に耳を傾けます。

チーム神奈川の推進

課題解決に向けて各課の連携を強化し、「チーム神奈川」で共に考え協力して取り組みます。

施策1 誰もがいきいきと暮らし続けられるまちづくり

子育て支援

- ◆ 親子のたまり場である「すくすくかめっ子」の支援
- ◆ 土曜日両親教室の開催
- ◆ ≪拡充≫家庭訪問等による虐待リスクのある対象者への支援
- ◆ ≪拡充≫ひとり親の悩みを受け止める相談支援対応
- ◆ ≪拡充≫専門職の対応力を強化するための検討会や個別相談等の実施



親子のたまり場「すくすくかめっ子」で親子が楽しむ様子

高齢・障害者支援

- ◆ 高齢者のフレイル予防に役立つ「体にいいこと手帳」や「神奈川県フレイル予防アクションマップ」の配布を通じた介護予防の推進
- ◆ イベントや広報誌等を活用した区民への認知症普及啓発の推進（VR体験会の実施等）
- ◆ 専門職を対象とした看取り期のVRを活用した研修会の実施
- ◆ 障害者地域作業所等の活動支援



VR体験会の様子

大学等と連携し保育・教育施設の防災の取組を進めます

保育・教育施設の防災対策に取り組む横浜市立大学との協定事業の集大成として、防災教材「てくてくまっち」を制作し、区内保育・教育施設130施設に配付しました。園児や職員の防災意識の更なる向上を図ります。

協働・共創
の取組

横浜市中期計画基本戦略の実現に向けて「伝わる広報」に取り組みます

子育て支援の取組が必要とする人すべてに届くよう、広報を強化します。また、子育てを応援する地域や団体、事業者の皆様の取組を広く紹介します。

伝わる広報
の取組

施策2 地域がつながり魅力にあふれるまちづくり

地域づくり

- ◆ ≪拡充≫「神奈川県地域づくり大学校」受講生・卒業生を対象とした交流会等による様々な人や団体のつながりづくり
- ◆ アンケート等の手法による自治会町内会の担い手発掘や地域活動等とのマッチングを支援
- ◆ 「かながわ支え愛プラン」第4期地域福祉保健計画の推進
 - ・ 地域活動を広報する特設のホームページを拡充し、活動風景やインタビューの動画を掲載
 - ・ ≪新規≫地区別計画（連合町内会）の推進会議や研修会などへのアドバイザー派遣



第8期神奈川県地域づくり大学校でのワークショップの様子

魅力発信

- ◆ 神奈川区の魅力資産をまとめた「わが町 かながわ とっておき」を広く知ってもらうためのイベント等の開催や新設ホームページの周知・活用
- ◆ 商店街スタンプラリー開催による商店街の魅力発信及び活性化の促進
- ◆ 旧東海道歴史史跡等を活用したイベント開催
- ◆ 地域美化活動「わが町かながわマナー違反一掃作戦」の実施
- ◆ 公園愛護会と連携した2027年国際園芸博覧会の開催に向けた機運醸成



4年ぶりに実地開催した区民まつりの様子

脱炭素化の推進

- ◆ <<新規>> 神奈川大学と連携した区民向け環境講座の開催
- ◆ 横浜FCと連携した啓発事業の実施、2027年国際園芸博覧会を念頭に置いた「花と緑のカーテン」による緑化推進や地産地消推進のための野菜市の開催

協働・共創 の取組

多文化共生ラウンジを開設します

令和5年度中(令和6年3月予定)に多文化共生ラウンジを開設します。また、ラウンジ開設を契機として、市民活動団体等との連携・協働による多文化共生のまちづくりを進めます。

施策3 安全・安心なまちづくり

防災・減災

- ◆ <<拡充>> 関東大震災から100年の節目を契機とした防災に関する区民の関心度・認知度の向上
 - ・ 民間事業者との連携による防災啓発
 - ・ Twitterの活用等による広報強化
- ◆ 乳幼児子育て世代向けの家具転倒防止の普及啓発
- ◆ 地域防災拠点の機能強化(運営委員向け防災講座及び運営マニュアルの改定支援)
- ◆ <<新規>> 福祉避難所用のHUGカードの作成と訓練の実施



地域防災拠点での訓練の様子

防犯

- ◆ 防犯キャンペーンやパトロールのほか、広報紙面やホームページでの啓発
- ◆ 警察との連携による防犯メール配信などの情報提供

協働・共創 の取組

民間事業者と連携した防災の取組を進めます

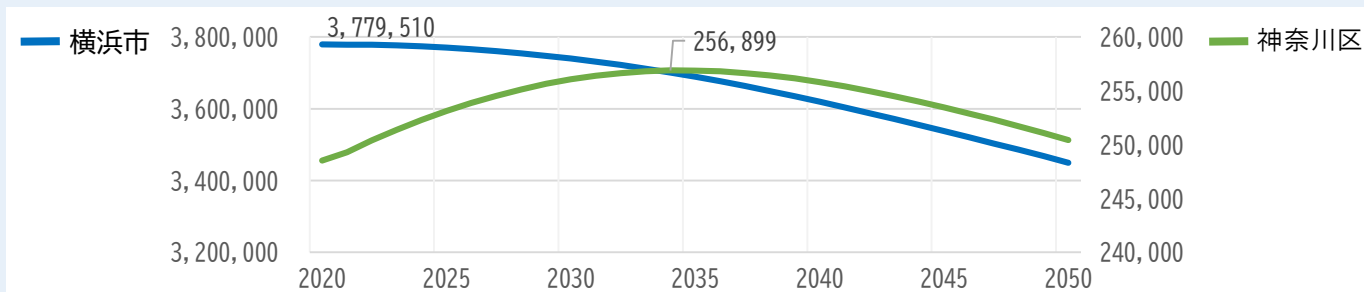
令和5年3月に日本たばこ産業株式会社(JT)と災害時の車両等の提供に関する協定を締結しました。今年度は、イオン・無印良品等の民間事業者との連携を進め、更なる防災の啓発を推進します。

— 神奈川区の概要 —

< 神奈川区の人口 >

横浜市全域の人口は、2021年をピークにすでに減少の局面に転じています。

神奈川区では、少子高齢化により自然増加数はマイナスとなっていますが、転入超過による社会増加数が大きいため、2030年代半ば頃までは人口増加の傾向が続くと見られています。

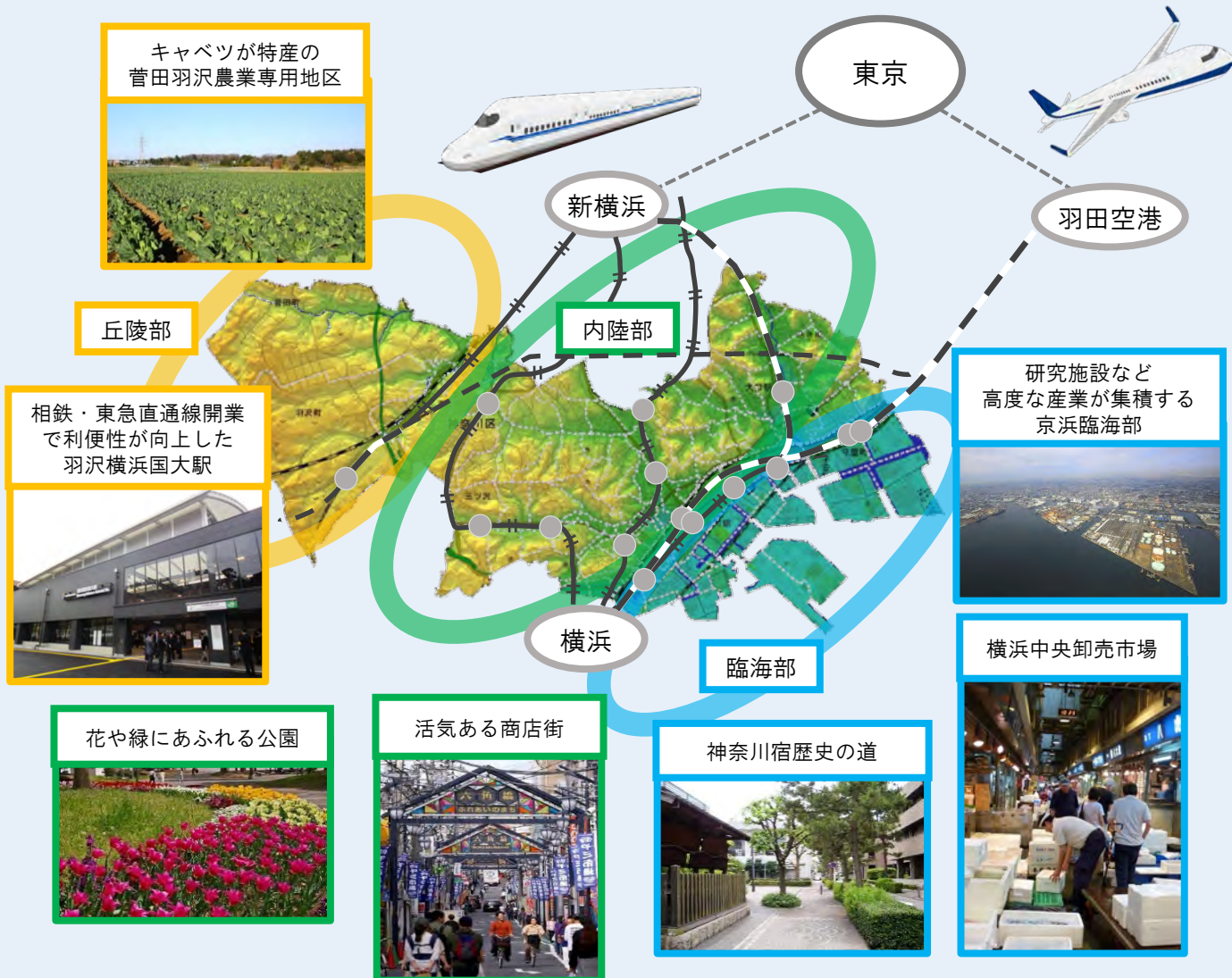


市HP「今後の人口の見通し推計(令和3年度)」出典

<用語の定義> 自然増加数=出生数-死亡数、社会増加数=転入数-転出数+その他増減

< 神奈川区の特長 >

横浜市のほぼ中央に位置する神奈川区には、6路線が乗り入れ、15の鉄道駅があります。横浜駅や新横浜駅などのターミナル駅や羽田空港へのアクセスも良く、令和5年3月に開業した相鉄・東急直通線により、さらに首都圏・新横浜へのアクセスが向上しました。



★その他の事業・取組については、「令和5年度 神奈川区予算」をご覧ください。

